

『ファウスト』脚注の試み (14)

渡 辺 信 生

(1955年5月10日受理)

2464+ gelassen — gelassen (haben). außer acht lassen. fängt an — an|fangen. es — 形式上の主語。eine große Flamme が真の主語。welche — 関係代名詞。先行詞は eine große Flamme. zum Schornstein hinaus — 煙突から外へ。hinausschlagen — (炎が) 吹き出す。die flamme schlägt zum fenster hinaus. (Grimm). heruntergefahren kommen — 降りてくる。fahren — 本来は場所の移動を惹き起すすべての運動の最も一般的な表現だった。(H. Paul).

2465. ここから第2 Intermezzo が始まる。この中で Mephisto は、再び本来の彼自身になり、彼の部下たちの反抗的態度に対して、王はどのように振舞わねばならなかったのかを、実際に演じて見せるのである。Mephisto は粗野には粗野で、攻撃には反撃で答える。彼は最高の支配権の純然たる象徴である。„Zepter” (Wedel) を武器として用いて、ここでは一切を破壊できる自分の力を実際に示すのである。こうして彼は自分に相応しい敬意を直ちに手に入れる。フランス王はそうせずに、民衆を恐れて一步一步あとずさりして、王が最初のうちはまだ持っていた権力や、秩序を回復する機会を失ったのである。(Arens).

Au! — ein schmerzruf, dem sich schon mhd. wie heute ein we zugesellt, in welchem eigentlich die vorstellung des leides und wehes liegt. (Grimm). 熱さの叫び声。ひゃ —, あっちちち。

魔女の鍋から吹きこぼれて立ち昇る炎は、女主人や扇動者さえもおびやかす、とどまる所を知らない民衆の怒りであり、革命の子さえも食い盡す革命を象徴するものである。鍋の中身は、民意や政治的怪文書といったものである。(Arens). Wein のようにこぼれたり、この Hexentränk のように吹きこぼれたりすると、炎になるというのは、中世の迷信である。(Endres).

2466. Sau — als Scheltwort. (Fischer).

2467. Versäumst, versengst — (Du) versäumst, versengst. 鍋の番を忘れた Meerkatze への呼びかけ。(Schröer). die Frau — in der ursprünglichen Bedeutung „Herrin”. (Königs).

2469. Was ist das hier? — ここで何をやっているのか?

2470. Wer seid ihr hier? — ここにいるお前たちは何者か?

2471. Was wollt ihr da? — そそこでお前たちは何の用があるのか? 三重の脚韻がこの句で損われている。(Vers 2475 — 80 も三重の脚韻)。もともとこの句は恐らく: Was wollt ihr hier? だったのである。(Düntzer).

2472. sich ein|schleichen.

- 2473—4. Feuerpein—Wein 同様、鍋のなかみもこぼれると火に変わることから、地獄の火であることがわかる。(Schröer). Euch — 所有の Dat. Gebein — Gesamtheit der Gliedmaßen. 身体。(Fischer). ここは = Die Feuerpein fahre euch ins Gebein! od. Die Feuerpein soll euch ins Gebein fahren!
- 2474+ Sie—die Hexe. mit et.³ in et.⁴ fahren — ある物がある物の中へ突っ込む。unter — 本来は zwischen の意。しかしここは Gläser と Töpfe の間をたたくのではなくて、Gläser や Töpfe に当たろうと当たるまいと、やみくもにたたき回るの意。
2475. Entzwei! — zerbrochen od. zerstückt. こっぱ微塵だ! (Fischer). in (zwei) Stücke gebrochen, zerschlagen, zerrissen. (Goethe Wb.). 従って Gläser や Töpfe を、全部まっ二つにしてやるというのではなくて、それらをこっぱ微塵にたたき割ってやるぞという意味。英訳では: To pieces! to pieces! (Atkins). To smash! To smash! (Bruford).
2476. Da liegt der Brei! — そら、お粥が飛び散るぞ! 英訳では: There goes your stew! (Bruford). See the brew run! (Atkins).
2477. Da liegt das Glas! — 英訳では: There goes your glass! (Bruford). See the glass break! (Atkins).
2478. Es — Vers 2475 — 7までを指す。nur Spaß — これはお前の挨拶に対するお返しの冗談にすぎない。(Schröer).
- 2479ff. Aas — Fleisch eines toten Körper; seit alter Zeit auch als Schimpfwort dienend. (Fischer). Melodei—Singweise. (Fischer). Der Takt (stimmt, paßt) zu deiner Melodei.
2481. Gerippe — hagere oder abgemagerte person, an der, wie man sagt, nur haut und knochen ist. (Grimm). Scheusal — Abscheu erregendes Wesen. 化けもの、妖怪。(Fischer).
2482. Herrn — Herren.
- 2483ff. Was hält mich ab, so schlag' ich zu — Was hält mich (davon) ab, daß ich zuschlage. (Thomas). 俺がお前やお前の猿どもを、ぶん殴ったり、打ちのめしたりするのを、邪魔するものがあるろうか! jn. von et. abhalten — 人がある事をするのを妨げる、邪魔する。或いは; Wenn du mich nun nicht erkennst, so schlage ich zu. (Heffner). Katzengeister — The Meerkatzen, the apes. (Heffner).
2485. rot — 火の象徴であり、また荒々しい狩人 (Wodan) の色でもある赤は、悪魔の色である。(Arens). Wams — 騎士時代には panzer の下に着る jacke のことで腰の上までであった。目のつんだ素材で作られ、大抵は木綿のわたを詰めて縫い合わせていた。その後市民や傭兵の間で上衣の下に着る衣服になる。それからフランスモードの影響の下で、上衣の下に着るためにすそや袖がなくなり、軽い素材で作られるようになって Weste になる。近代になっても wams が文学に登場するのは珍しくない、特に昔の状態が話題になるときは。(Grimm). anliegende Bekleidung des Oberkörpers. (Fischer).
2486. Hahnenfeder — Schwungfeder eines Hahnes. (Fischer). Vgl. Vers 1538.

- Hahnenfeder をつけているのは、恐らく黒い雄鶏が悪魔の現われと見なされているからであろう。だが他のイメージも働いていたのかも知れない。ガリアの雄鶏（フランスの象徴）も、ここで考えられているのでは？ (Arens).
2487. Hab' — Habe. dies Angesicht — Mephisto の顔は従って悪魔の特徴を帯びていなければならない。このことは Mephisto を演じる役者のマスクにとっては、ぜひ守らねばならない指摘である。(Endres).
2488. Soll ich mich... nennen? — 自分から名のらないといけないのか? = Ist es nötig, daß ich mich selber nennen? etwa — vielleicht. 自分から名のる必要はないということをお前は知っているはずだというのが言外の意味。
2489. Herr — Gebieter. (Fischer). verzeiht — Ihr に対する要求。
2490. Seh' — Sehe. doch と定形倒置 = denn. = Denn ich sehe keinen Pferdefuß. Pferdefuß — Mephisto は馬の脚を靴の中に隠している。(Königs). ここで初めて Mephisto の馬の脚が話に出る。Vgl. Vers 4065, 6340, 7150, 7738. (Alt).
2491. denn — 疑問を強める。Eure beiden Raben — 北欧の神話では二羽の鳥は Wotan の使者である。ゲーテは民間信仰の中で、しばしば悪魔や魔女や悪霊などを体現する鳥を、Mephisto の同伴者に借用している。(Erlor). Vgl. Vers 10664, 10711, vor 10742. (Reclam). 二羽の鳥は悪魔の伝統的な同伴者ではない。Mephisto に与えると前以て定められていたものでもない。鳥は第2部の戦争の場面で実際に現われる。Vgl. Vers 10664. (Schöne).
2492. Für diesmal — 今回は。kommst... davon — davon|kommen. 免れる。so — これだけで。お前はこれだけで免れる。つまり、これだけでお前を許してやるということ。
2493. es — 次行の daß 文を受ける。eine Weile — 悪魔の時間概念に従えば、恐らく地上の100年。(Arens).
2494. Daß — Seit. uns — einander.
2495. Auch — 次行の Hat のあとにあるべきもの。ゲーテはその全盛期に語順を極めて自由に扱っている。(Düntzer). 同様の例は Vgl. Vers 1001, 2939. (Schröer).
2496. sich auf et.⁴ erstrecken. 現在完了。sich は Hat のあとが普通。Hat sich auch. sich erstreckt は詩的表現。悪魔は人間の悪魔についての見解を惹き起すのではない。それを反映するのである。(Arens).
2497. Phantom — 恐しい姿をした悪魔。悪魔は文明開化に適応して、入口を見つけるために、より上品な身なりで登場しなければならない、と言って自ら嘲笑する。(Düntzer). sein + zu 不定詞。Alexandriner. (Arens).
2498. Hörner, Schweif und Klauen — 悪魔の形は長い発展を経て、最後には山羊の足をした神パンのような、古代の混合形に戻る。(Trendelenburg). = Nirgends siehst du Hörner, Schweif und Klauen.
2499. was — 不定関係代名詞。den — 関係代名詞。先行詞は den Fuß. Fuß — Pferdefuß. den ich nicht messen kann = ohne den ich nicht sein kann. (Arens). Alexandriner. (Arens).

ゲルマン人の大好きな動物であり、またゲルマン人が好んで食べた動物でもあるこの馬

を、ゲルマン民族に不気味な動物と思わせて、馬の肉を食べるのを、教皇によって禁止させたのは、ドイツ人の使徒 Bonifatius (673—754) だった。従って馬の肉を食べることは、ドイツ市民社会では今日でもまだ軽蔑されている。人々は自分たちの集合的無意識の中に巣くっている嫌悪が、どこから来ているのかを、もはや知らないけれども。(Endres).

2500. Der — 前行の Fuß を指す指示代名詞。würde — Konjunktiv II. schadete の代り。bei Leuten — in den Augen der Welt. (Fischer).

2501ff. bedien' — bediene. sich eines Dinges bedienen. mancher は定冠詞類。falscher Waden — Pl. Gen. 細いふくらはぎを、靴下の内側に、(服地や鋸くずを詰めた)裏当てをつけて補うこと。(Grimm). 半ズボンの流行に際して、18世紀に広く普及した慣習。ここでは馬の足を隠すため。(Schöne). Vers 2501 は Alexandriner. (Arens).

2503ff. verlier' — verliere. schier — beinahe, geradezu. (Fischer). Seh' ich — Sehe ich (doch) den Junker... od. Denn ich sehe den Junker... /Junker — mhd. altherre の反対語 juncherre から、中間形 junkher を経て、16世紀には今日の短縮形 junker になる。貴族の息子、若い貴族の意。teufel は好んで貴族の服装をして描かれる。(Grimm). Vgl. Vers 1535, 4023. (Heffner). Satan — teufel. das wort stammt aus dem hebr. widersacher,verfolger. (Grimm).

ここは Faust が鏡の中の美女を見て: ich werde schier verrückt. (Vers 2456) というのと同じ。魔女は Faust と同じく言葉では表わせない感動を、踊りによって表現するのである。魔女は、王が民衆の真の王であり父であることが証明され、恥ずべき不正を片づけて、新しい秩序を生み出したと思って、うっとりとなって、民衆の幸福感を口にする。状況はこうである。魔女が Mephisto に我を忘れ、Faust が鏡中の美女に恋いこがれる。これは Mephisto が老婆との、Faust が美女とのブロッケン山でのダンスに対応する。„Junker Satan” という呼びかけは、(最も古い貴族なので)最も高貴である Satan の息子への呼びかけとして理解できよう。これによって以下の Mephisto の自己描写への橋がかけられる。(Arens).

2505. sich³ et. verbitten — durch Bitten abwehren, nicht gestatten wollen. (Heyne).

2506. er — der Name Satan. 次行の er も同じ。Euch — Dat. Mephisto は Junker は是認するが、Satan は拒否する。Satan のイメージが古くなったからである。(Arens). 英訳では: What wrong has it done you? (Bruford).

2507. lang' — lange. Satan はとうの昔にメルヘン上の人物になってしまった。(Arens).

2508. dran — daran. そのために。

2509. Den Bösen — Satan. Akk. sie — die Menschen. los — et⁴ los sein (werden). あるものから免れる。die Bösen — 悪い人々。現在完了。Alexandriner. (Arens).

2510. so ist die Sache gut — that will do. それで十分だ。(D. Luke). Alexandriner. (Arens).

2511. Alexandriner. (Arens).

- 2507—13. 民衆が全能の支配者を廃止するなら、その支配者の代りに多くの権力者が登場する。その結果結局事態は余り良くはならない。悪魔は従って自分の「王位」を断念して、他の人々の中で貴族になることだけを望む。Baron の肩書以上のものを悪魔は要求しない。この点では悪魔は謙虚であるが、自分の古い貴族の身分を、自分の Wappen で証明することができる。彼は unanständige Gebärde をする。Vgl. Vers 3291. (Arens).
2513. Sieh her — du に対する命令法。her|sehen. あとの das は Wappen を先行詞とする関係代名詞。
- 2513+ eine unanständige Gebärde — Vers 3292, 5778 と同様に、ここはゲーテがイタリアで知った „Feige” の卑猥な身振りを思わせる。舞台上の演技としては、ゲーテはあとでお尻を打つことを勧めた。(Petsch).
2514. Das — Er macht eine unanständige Gelärde. を指す。
2515. Schelm — loser, neckischer mensch, in kosender sprache, geliebtes wesen. (Grimm). nur immer sein — nur は immer を強調する。いつもそうで、それ以外は考えられない。それしかない。
- 2516ff. das — 2行上の Das と同じ。次行の Dies も同じ。lerne — du に対する命令法。ここで Mephisto は、Faust に明白な言葉で自分のやり方を知らせている。言い換えるところということである：フランス王は自分の権力が攻撃されたとき、直ちに行動していたなら、自分の権力をまだ保持することができたろう。この立場からフランス王は、もはや絶対的な支配者であることをやめ、称号と象徴を断念することができたろう。Mephisto がそうしているように。それでもフランス王は Wappen によって、即ち、その古い権利によって、自己を証明することのできる最初の者であることを示すことができたであろう。従ってフランス王は、立憲君主制へ踏み出すことができたであろう。(その代りにフランス王は、誤った時期の妥協と抵抗によって、王国の完全な破壊を招いたのである。)(Arens).
- 大抵の注釈者たちは、ここで「イタリアの卑猥な身振り」(ゲーテはこれを1829年ワイマルで Mephisto の尻を打つことに変えさせた)を持ち出しているが、Arens は、「握りこぶしの人差指と中指の間から突き出された親指が、ブルボン家の百合の紋章を思わせる」として、ゲーテの見解によれば、Hexenküche の中でフランス王は革命の初期に、どのように正しく振舞うべきであったかということ、Mephisto が絶えず演じて見せているという馬鹿げた主張の支えに用いている。(Schöne).
- Mephisto は、革命の徴候に気付かない反動的な王の役割を演じている。しかし Hexenmeister として一つの王国を指導する力を示している。(E. Hermes).
2518. sagt — ihr に対する命令法。was — 疑問代名詞。schaffen — mit dem acc. der sache, auftragen, befehlen. mundartlich im gebrauch ist noch was schaffen's, was befehlen sie? besonders als anrede gebraucht beim eintritte in wirtsstuben und krämerladen. beim weggehen heisst es schaffen's bald wieder. (Grimm).
2519. Ein gutes Glas — (Gebt uns) ein gutes Glas. gut — reichlich, beträchtlich. (Grimm). Saft — zaubermittel der hexen. (Grimm).

2520. jn. um et. bitten. ums älteste (Saft). Saft — 今日では m. mhd. saf, sapht, safft は n. (Grimm).
2521. Vgl. Vers 2373. doppeln — verdoppeln. (Fischer).
- 2522ff. hab' — habe. der — eine Flasche を先行詞とする関係代名詞。次行の Die も同じ。naschen — uralte Gerippe である魔女 (Vers 2481) がなめるのは精をつけるため。(Arens).
2525. euch — Dat. ein Gläschen — Mephistoは ein gutes Glas と言うが、魔女は自分も時々用いる貴重な Saft をけちって、ein Gläschen と言う。(Arens).
2526. es — 1行上の ein Gläschen = Saft. unvorbereitet — この飲物は有毒なので、「患者」の側の魔法による準備が必要である。これは準備なしに飲み食いしてはいけない Sakrament の悪魔による模倣である。(Endres).
この Vers でカトリック教会に対する多かれ少なかれゲーテの婉曲な攻撃が始まる。ゲーテの意見によれば、教会は専ら理性に反することや、馬鹿げたことを教えるので、人間にとって有害である。(Arens). Alexandriner.
2527. er — 1行上の dieser Mann = Faust. eine Stunde — Akk. Alexandriner. (Arens).
2528. Es — 2行上の dieser Mann = Faust. dem — 関係代名詞。先行詞は ein guter Freund. es — Saft. gedeihen — mit dat. der person förderlich, nützlich. (Grimm). einem gedeihen — ihm zur Nahrung dienen, bekommen, zuträglich sein. (Heyse). soll — 話者の意志。dem es gedeihen soll = ich werde dafür sorgen, daß es ihm gedeiht (zuträglich ist). Alexandriner. (Arens).
- 2526—8. 魔女は2行の Alexandriner で話すことで、Mephisto にすっかり順応する。Mephisto も Alexandriner で応ずる。(Arens).
2529. gön'n' — gönne.
2530. Zieh, sprich — du に対する命令法。Zieh deinen Kreis — Zeichne mit Kreide den Zauberkreis. (Königs). Zauberkreis は神聖な空間と不爭な空間とを分ける。悪魔を呼び出す際には、円形に閉じられた空間は、術者を生命の危機から守る。Faust も生命の危機に脅かされているので、円内に入らねばならない。(Trendelenburg).
2531. gib — du に対する命令法。eine Tasse voll (Saft). 薬を一杯。Vgl. ein Glas voll Wein. 一杯のワイン。
- 2531+ mit seltsamer Gebärden — Vgl. vor Vers 2284. (Arens). stellt... hinein — hinein|stellen. die Kessel zu tönen — die Kessel (fängt an) zu tönen. machen Musik — 音楽は教会の中のように響く。感情を高揚させ、悟性を眠らせるためである。(Arens). Gläser が踊ったり鳴り響いたりすることが、一番古い Faustbuch に書いてある。(Loeper). die — 関係代名詞。先行詞は die Meerkatzen. ihr zum Pult dienen — 魔女の机の代りになる。その机 (猿の背中)の上には ein großes Buch, いわゆる das Hexenevangeliar (魔女の聖福音集)がのせられる。Meerkatzen は Akoluthen (侍祭)として、Kerzen ではなく、Fackel を持たねばならない。(Arens). die Fackel は die Fackeln の誤植。(Düntzer). Fausten — Akk.

ここは明らかにゲーテがイタリヤで何度も体験したミサの、いかにも子細ありげで複雑な、意味深くあろうとする一切の形式に対する、彼の拒否と反感が表わされている。(Arens).

2532. sage — du に対する命令法。das — Vers 2531+に書いてあること。soll — 疑惑の表現。
2533. toll — töricht, unsinnig. (Fischer). Zeug — in stark abschätziger bewertung. (Grimm). rasend — toll, unsinnig. (Fischer).
2534. Der abgeschmackteste Betrug — 奇妙な身振りや儀式のことで, Faust は Hexentrank の効果を疑っているのではない。(Trendelenburg). Betrug — Irreführung, Lüge. (Goethe Wb.).
2535. verhaßt — äußerst od. höchst gehaßt, mit dat. (Fischer). 1787年2月2日, Frau von Stein 宛のゲーテの手紙: システィナの礼拝堂の中は, ローソクが聖別された役所でした。私はしばらくの間そこにいました。これはもう前に書いたことですが, このまやかしのために私はすっかり病気になってしまったのです。(Schöne).
2536. Possen — nichtige Dinge, verächtliche Kleinigkeiten. (Fischer). Ei Possen は現在では用いられない古い表現。
2537. Sei — du に対する命令法。streng — ernst, unerbittlich.
2538. Sie — die Hexe. Hokuspokus — Gaukelei, Taschenspielererei. Vgl. Vers 2307. (Fischer). Mephisto 自身魔女の準備を笑うが, その準備の心理的必要性を指摘する。(Endres).
2539. Damit — 目的。gedeihen — nützlich sein.
- 2539+ Emphase — griech. Nachdruck. 力を込めること。(Königs). Buch — 上述の ein großes Buch = Beschwörungsbuch. (Endres).
- 2540—52. 魔女は命令形の形式で自らの教義を, 更に数の取り扱いに関する文法的に正しい文章で, 客観的な Unsinn を告知する。ゲーテ自身ははっきり言明したように, これらの詩句は如何なる意味をも生み出すべきではない。ツェルター宛 1827年12月4日付の手紙でゲーテは書いている。「同様に彼らは悩んでいるのです.... 魔女の九九や, 他のいくつかの無意味なことを, 常識に同化しようともくろんで。」同年3月28日のある本に関するエッカーマンの意見に対するゲーテの言葉「その本の中では, ところどころ不可解な言葉が, 同じ箇所と同じ円を描いている。私の『ファウスト』の魔女の九九と全く同じ様に。」
- ところでゲーテの言葉を信ずるにせよ, 信じないにせよ, いずれにせよ, カバラの数の象徴的意義を用いて分析したり, 魔方陣を組み立てたり等々で, 魔女の九九を解く秘密の鍵を見出そうとする一切の試みは, 私には邪道で無駄なことに思われる。そうしたことは, テクストに本質的なことを何一つ付け加えはしないからである。(Arens).
2540. Du — Faust.
2541. Eins — 神は元来限りなきもの, 無限に一なるものであり, そこではあらゆる形式が可能性として存在する。(Endres). mach — du に対する命令法。2行下, 7行下も同じ。
2542. Zwei — すべての魔法の手続きで, 2は嫌われている。それは2が殆んどすべて

- の民族の秘儀に於て、両極性を現わす数だからである。(Endres). laß — du に対する命令法。gehen|lassen.
2543. gleich — even i. e. an even number. 偶数。(Thomas). 3から偶数を作る。(Endres). 英訳では：make even three. (Atkins). 3は紀元前数千年も前から、極めて神聖な数である。(Endres).
2544. So — そうですね。
2545. Verlier — du に対する命令法。Vier — ごく少数の例外はあるが、殆んどすべての民族にあっては、4は物質的なものを表わす数である。(Endres).
- 2546ff. fünf — 太古の聖なる数として、バビロンから全古代世界へ広がった。強さを意味する。sechs — 両極性を超越する数として美を意味する。魔女の九九に従えば、この強さ(5)と、神々しい美(6)から、神的なものの勝利と凱旋を意味する7と8が生ずる。(Endres). Hex' — Hexe. Sechs と韻を合せた。
2549. So — Dann. ist's — ist es. es — 魔女の九九を暗に指している。状態受動。
2550. 古代の初期には、すでに9は「完成」を意味した。絶対的な完成は神自身にしかないので、「9は1なり」と言われているのである。(Endres).
2551. Zehn — 10は徹頭徹尾合理的な基礎を持っている。手の指と足の指の合計を示すこの数には、神秘的なものは何ら存在しない。(Endres).
2552. das Hexen-Einmaleins — 教会の儀式を嘲笑するもの。(Königs). 外面的形式としては、この12行は男性韻を持った2強音の詩句である。(Witkowski).
2553. dünkt — dünken は『Faust』に於ては、Dat. より Akk. と結びつく方が多い。比率は凡そ3倍である。(Heffner).
2554. Das — das Hexen-Einmaleins. lange nicht — まだなかなか... ではない。
2555. kenn' — kenne. es — 次の das ganze Buch. so klingt das ganze Buch — so ist der inhalt des ganzen buches. (Grimm). das ganze Buch — 魔女の本。(Heffner). Bibel, speziell das NT. (Arens).
2556. manche Zeit — viel Zeit. (Thomas). = I have often wasted a great deal of time over it. (Heffner). damit — mit dem Studium. (Endres).
- 2557—8. ein vollkommner Widerspruch — 理解できない言葉の方が、理解できる言葉よりも力を持つ、というのが魔術の原則である。(Loeper). 「私は本当に奇妙な感じがするのだが、そもそも人間というものは、馬鹿げたことがただ意味ありげに目の前に置かれると、どんなに喜んでそれをつかむことだろう。」(Tageb. u. Br. aus Italien, 160) というゲーテの言葉を Arens は引用しながら、マリアの処女受胎(同上)とキリストの復活(Zu den Ven. Epigr.), 三位一体(Zu Eckermann am 4. 1. 1824)に対するゲーテの批判的な態度にふれている。「ここに示されている不合理なものに対する無理解と自我感情の判断を、ゲーテは完全に Mephisto と共有している。」(Arens).
2559. die Kunst ist alt und neu — 馬鹿げたことを不可思議な真理だと称する Kunst は、古くて新しい。die Kunst — the trick. たくらみ、策略。(Bruford, Greenberg).

- 2560—2. Es — 以下の 2 行の zu 不定句を受ける。die Art — やり方。Drei und Eins, Ein und Drei — 魔女の無意味な数遊びの中から, Mephisto は実際にはその数遊びの中には含まれていない, 三位一体の教義に対する嘲笑を, 精神的な混乱の源泉として取り上げる。1824年 1 月 4 日付のエッカーマンとの対話。「私も 3 は 1 であり, 1 は 3 であるということ信じなければならなかったろう。しかしそれは私の心の真理感に逆らった。」(Witkowski).
2563. So — indem man reinen Unsinn vorbringt. (Düntzer). ungestört — ohne sich stören zu lassen. (Alt).
2564. sich mit et befassen. den Narrn — den Narren.
- 2565—6. glaubt — 次行が目的語。er — der Mensch. Worte — Vers 1993の Doch ein Begriff muß bei dem Worte sein. これは即ち, Es muß sich bei den Worten „was denken lassen.“ の意味である。Mephisto はここで, とても優れたものと信じられるような, 一つの体系を形づくる口先だけの言葉の大いなる利点を強調しているのである。Vers 1995ff. も宗教や神学の言葉について語っているのである。Mephisto は金言風に 2 行の Alexandriner で話を結んでいる。(Arens).
- Es — 形式上の主語。was (etwas) が真の主語。müsse — Konjunktiv I. 間接引用文。dabei — bei den Worten. doch auch — やはりまた (何か考えさせるものがあるに違いない)
- 2567—9. Die hohe Kraft Der Wissenschaft — Die hohe Kraft der Wissenschaft (ist). Wissenschaft のあとに Komma があるのでこのように解する方が自然。Der Wissenschaft — d. h. ihrer Wissenschaft. 魔女の秘術の。(Arens). die Wissenschaft — eine Geheimwissenschaft. (Arens). das Wissen. (Heffner). Der ganzen Welt — Dat.
- 2570—2. Wer nicht denkt — wer auf das Denken überhaupt verzichtet. (Arens). wer — 不定関係代名詞。Dem — wer を受ける指示代名詞。sie — Die hohe Kraft der Wissenschaft. 次行の sie も同じ。Er — wer nicht denkt. ohne Sorgen — ohne Bemühung.
2573. Was sagt sie... — Was für Unsinn sagt sie uns vor? uns — Dat. vor| sagen. einem etwas vorsagen — es vor ihm, in seiner Gegenwart sagen. (Heyse).
2574. Es — 形式上の主語。der Kopf が真の言語。mir der Kopf — mein Kopf. gleich — sogleich.
2575. hör' — höre. Chor — Vers 3992, 4331 と同じように, 当時は殆んど中性だった。(Schmidt). Chor — überhaupt kreis, reigen, menge, ohne bezug auf gesang. (Grimm). Chorはしばしば軽蔑的に用いられる Schar, Menge の意味である。(Arens). 己には何だか馬鹿が十萬人も 群をなしてしやべつてゐるやうに思はれる。(鷗外訳)。
- 2573—6. Faust の反応は面白いが, 決して分かり易いものではない。なぜなら彼はここで高い知識を, 自ら努力せずに, むしろ思考の断念によって手に入れようという, 極めつきの非常識に反対の意見を述べているからである。だが Faust 自身獲得した無

- 用の知識に絶望して、霊の世界との直接的な接触によって、認識に至る手じかな道を求めたのは、つい最近のことなのである。まさしく全世界に隠された高い知識こそ、Faust には問題だったのである。彼自身の思考が何ももたらさなかったので、彼は地霊の自己啓示という恩恵の中に、この高い知識を求めたのである。(Arens).
2577. genug — ausreichend, hinlänglich. (Fischer). Sibylle — 元来はギリシャ、ローマ、中世の伝説などで、尊敬すべき女性と考えられていた巫子、女予言者を表わす言葉。18世紀にはドイツの日常語で、時々「醜い老婆、魔女」を表わす言葉になる。Mephisto は従って巧みに茶化して、trefflich という形容詞で気を利かせた、あいまいな呼びかけを選んでいる。(Trunz).
2578. Gib... herbei, fülle — とともに du に対する命令法。herbei|geben = etwas heranbringen und reichen. (Fischer).
2579. Mephisto は3回 (Vers 2519, 2531, 2579) たっぷり Faust に飲ませるように魔女に要求する。(Arens). hinan は無くてもよい。
2581. Er — mein Freund (Faust). ein Mann von vielen Graden — Faust の大学の学位や、学生の飲酒の作法に於ける順位に関係のある Wortspiel. (Erlor).
2582. Der — 関係代名詞。先行詞は ein Mann. getan — getan (hat). getan — genommen.
- 2582+ schenkt — Getränk eingießen und darreichen; dann allgemein = darreichen, insbes. mit der Nebenbed. des Unentgeltlichen. (Fischer). wie — als. sie — die Schale. Akk. eine leichte Flamme — 軽い炎はこの飲み物が地獄のものであることを象徴している。Vgl. Vers 1377, 2300. (Schöne).
2583. frisch — als Ermunterungsruf. (Fischer). Vgl. Vers 1828, 2587, 3704. Nur frisch! — さあ、元気よく。思い切って。(Schrücke) nur frisch hinunter! Immer zu! — (Tu's nur) immer zu! (構わぬから) どんどんやれ(ぐっと飲め)!
2584. Es — Hexentrunk. dir das Herz — dein Herz.
2585. Bist — (Du) bist. mit einem du und du sein — ihn mit „du“ anreden, mit ihm auf „du und du“ stehen. (Fischer). Faust は最初から Mephisto を du で呼ぶが、Mephisto の方では、Vers 1346 が最初である。2人の話の中で時々 du, er, ihr と変るのは、そのときどきの気分を表わしている。(Schröer).
2586. Und willst dich — Und willst (du) dich. sich vor et.³ scheuen.
- 2586+ Die Hexe löst den Kreis — 円周が一箇所切断される。ちょうど Pentagramm の角の一つが開いていて、そこから Pudel が Faust の部屋の中へ入ってきたように。(Trendelenburg). heraus|treten.
2587. Nun frisch hinaus! — Nun (gehen wir) frisch hinaus! Du darfst nicht ruhen — Vers 2594-5は、ただぜひ必要な治療上の処置を説明しているのかも知れない。しかしもし薬の作用物質が、真ちに循環する血液の中へ入らなければ、生体に危険を及ぼすという理由もあるかも知れない。(Arens).
2588. Mög' — Möge. Konjunktiv I. 願望。 Euch — Dat. (Faust). wohl — gut. behagen — bekommen. ためになる。(Goethe Wb.). mit dem Dat. der Person; gefallen, zuträglich sein. (Heyse).

2589. Kann ich dir was... — wenn ich dir etwas zu Gefallen tun kann. jm. et. zu Gefallen tun — ある人のためにある事をする。
2590. So darfst du mir's... — So brauchst du es mir nur zu sagen, wenn wir uns bei der Walpurgisnacht sehen. (Trunz). auf — 時を示す。(青木)。auf Walpurgis = in der Walpurgisnacht. (30. April/1. Mai). (Königs). 悪魔と魔女とが会う Walpurgisnacht についての最初の暗示。(Trunz)。
- 2591ff. Ihr's — Ihr es. es は das Lied. ここは魔女が Faust に言う言葉。この Lied というのは、薬の効果を強めるためのエロチックで下品な Lied か、呪文かのどちらかである。(Königs). 敬虔主義のパンフレットの敬虔な配布者の話し方と、魔女の歌を、ここで意地悪く魔女の口から語らせている。この歌は Vers 2588 の続きとして、Faust に与えられたものである。(Schröer)。
2593. Komm, laß — du に対する命令法。
2594. transpirieren — schwitzen, ausdünsten. (Grimm)。
2595. Damit — 目的。die Kraft — 薬の効き目。(Fischer). Inn-und Äußres — Inneres und Äußeres. Vgl. Vers 279, 433, 635. (青木)。
2596. edel — Spöttisch sagt Mephisto und sein Wort klingt verführerisch. (Fischer). lehr' — lehre. schätzen — achten, hochachten, wertschätzen. (Grimm). = Hernach lehre ich dich, den edlen Müßiggang zu schätzen. Alexandriner.
 あらゆる悪徳の初まりである Müßiggang を、Mephisto は edel と呼ぶ。Faust が思いもつかない圧倒的な肉の享樂の中にどっぷり浸るには、この Müßiggangこそ最も都合なのである。もしこうした生き方を Faust に尊重させることができれば、Mephisto は賭に勝つ最善の見通しを持つことになる。(Arens)。
2597. Ergetzen — Ergötzen = die Freude. (Fischer). Alexandriner.
2598. Cupido — 愛の神。hin und wieder — hin und her. (Schöne). Alexandriner. Hexenküche の少し前に、ゲーテは次のような Lied を作っている。(イタリア紀行。1778年1月の報告)。
 Cupido, loser eigensinniger Knabe!
 Du hast mich um Quartier auf einige Stunden,
 Wie viele Tag' und Nächte bist du geblieben!
 Und bist nun herrisch und Meister im Hause geblieben!.... (Düntzer)
2599. Laß — du に対する命令法。nur schnell noch (einmal) — ぜひ、急いでもう一度。
- 2601ff. Du sollst das Muster... sehen — Ich will dich nun bald das Muster aller Frauen leibhaftig vor dir sehen. das Muster aller Frauen — Ideal weiblicher Schönheit. (Trendelenburg)。
- 2603ff. mit diesem Trank — durch diesen Trank. Helenen in jedem Weibe sehen — どんな女もヘーレナだと思う。Helenen — Helena. 語尾変化をした形で、ギリシャ語の Akk. に当る。ここではただあらゆる女性の中で、熱望に値する最も美しい女性を意味するだけである。(Trunz)。

Helenen のアクセントは、ここでは Vers 6197 と同じく、第1音節と第3音節にある。第2音節にアクセントがあるのは、Vers 7484, 7485, 8614. (Reclam).

2601—4. 魔法の鏡の中の理想像は、すぐに生身の肉体になる。Faust が媚薬のせいで、どんな女性でも熱望に値する美しい „Helena” と思ひ込むからである。(Schöne).

これらの詩句は、Gretchen 悲劇を理解するには、根本的に重要なものである。Faust は Gretchen を肉欲の対象としてしか見ていないのに、Gretchen の方では、Faust を精神的にも愛してしまう。この矛盾こそが悲劇なのである。従って Gretchen は死なねばならない。他方 Faust は、第2部が示しているような悲劇を見事に克服する。Mephisto は Gretchen を犠牲にするために、すでに捜し出していたのである。(Endres).

STRASSE

男性的、思想的、そして陰うつで激し易いという具合に、全く Faust によって支配されていたこれまでの場面とは違って、今や女性的なもの、感覚的なもの、明るく優しいものが続く。Faust と Gretchen とは、互いに引き合う両極である。Gretchen と Mephisto とは、互いに避け合う対立である。Gretchen は我々が最初に見たとき、教会から出てくる。あとでもキリスト教的な敬虔さと彼女との結びつきが繰り返し現われる。Mephisto との対立は、すでにこの最初の所で明らかになる。(Trunz).

2605ff. Fräulein — „gnädig” と同じように貴族に対してのみ用いられた。Vgl. Vers 2902, 2906. 市民に対しては Jungfrau (Vers 3018), Jungfer 或いは Mamsell (Vers 2937 „Madam”). (Schmidt). 自然の性に従って女性名詞として、17, 8世紀によく用いられた。(Fischer). wagen, et. zu tun.

Geleit — das Geleite. Urfaust ではここは Mein Arm und Geleit. Ihr — 2 人称の代名詞 Er と同様に用いられた Sie の Dat. Vgl. Vers 548. (Heffner).

この „Ihr” は1740年頃、今日でもまだ用いられている „Ihnen” と交代した。中世の用法では „Euch” であろう。(Endres). antragen — anbieten. (Fischer).

2607. Margarete — lat. margarita (真珠)。Märchen や Volkslied で好まれる名前。明るい場面では、Margarete, 悲劇的な場面では Gretchen. 他に Margretlein (Vers 2827), Gretelchen (Vers 2873). (Reclam). Bin — (Ich) bin. weder ... weder — weder ... noch の古い形。Vgl. Vers 5499. Iphigenie でも用いられている。(Loeper). Gretchen は自分が美しいのをよく知っている。Vers 4434. (Schöne).

2608. Kann — (Ich) kann. sich los|machen — 身をもぎ離す、振り払う。Faust は腕を貸してお供をしようと申し出たばかりではなく、厚かましくも彼女の腕を取ったのである。(Arens).

2609ff. Beim Himmel — bei Gott. dieses Kind ist schön — Urfaust では遥かに熱烈である：Das ist ein herrlich schönes Kind. (Schmidt). So etwas — あのような女。hab' — habe. gesehen とで現在完了。この Faust の言葉は、彼が内心の狼狽と Gretchen の魅力の虜になったことを、彼女の言葉を聞いて思わず口にする

- Reimecho (schön/gehn : schön/-sehn) によって、直接に表現している。(Arens).
2611. Sie — Margarete. so — sehr. sitt- und tugendreich = an Sitte und Tugend reich. (Fischer).
2612. Und etwas... zugleich — Und doch zugleich etwas schnippisch. schnippisch — seit 16. Jhdt., oft vom Verhalten junger Mädchen = kurz und schnell abweisend. (Fischer). naseweis, kurz angebunden, spitzig im reden. 話し方が小生意気で、無愛想で、つんつんした。(Grimm).
1778年4月23日の手紙で、ゲーテは Kestner に、Lotte が相愛らず schnippisch かどうか、問い合せている。(Witkowski).
2613. Der Lippe, der Wange — とともに Gen.
2614. Die Tage der Welt — while the world lasts; acc. of duration. (Thomas). 生きている間。vergess' ich's — vergesse ich es. es は前行の唇の赤さと頬の輝き。
2615. sie — Margarete. 2行下の sie も同じ。
2616. Hat — (Das) hat. 前行を受ける das の省略。現在完了。
2617. kurz angebunden war — schnippisch とほぼ同じ。(Schröer). 素気ない、無愛想な。(Grimm). mit kurzen Worten mich abtat, mit wenig Worten die Zurückhaltung deutlich machte. (Trunz).
2618. Das — 前行を指す。gar は nun のあとが普通。
2619. Hör — Hör (mal). du に対する命令法。いいか。おい。Dirne — 元来は dienende weibliche Person. もともこの語には軽蔑的な意味はなく、Lutherbibel にあるように Jungfrau, Mädchen の代りに用いられた。(Fischer). 今日のような言葉の意味で用いられているのではないが、前出の „Fräulein” との対照によって、侮辱的な響きは明白である。(Petsch). schaffen — beschaffen, verschaffen. einem etwas schaffen = es in seinen Besitz bringen, es ihm verfügbar machen. (Fischer). これからあとの Faust の言葉は、単なる所有欲に憑かれた、極めて恥知らずなものである。(Arens). Faust はここで初めて Mephisto に命令する。(Buchwald).
2620. Nun — えっ。えーと。Sie — 1行上の die Dirne. just — eben, gerade. (Fischer).
2621. die — 指示代名詞。前行の Sie.
2622. Der — 指示代名詞。前行の Pfaffen. sie — Akk. einen von et. frei sprechen. 詩的表現では von et. の代りに Gen. を用いる。einen aller Sünden frei sprechen. ある人には何の罪もないと言う。(Heyse).
2623. schlich mich... vorbei — sich vorbei|schleichen. hart — dicht. (Fischer). Stuhl — Beichtstuhl. (Schmidt). vorbei は Urfaust では herbei. この方が意味の上からは適切だが、構文上 Dat との結合が誤りなので訂正された。(Witkowski).
2624. Es — die Dirne (Gretchen). unschuldig — unschuldig(es). ゲーテは形容詞の場合、語尾変化をしない古い形をよく用いている。(Endres). Ding — emotional für eine Person, meist für das junge Mädchen, bes. in Verbindungen wie 'armes, gutes, liebes, unschuldiges, junges, wackeres, frisches, hübsches Ding.'

- Vgl. Vers 2948, 3693. (Goethe Wb.).
2625. Das — 関係代名詞。先行詞は前行の Ding.
2626. die — 指示代名詞。2行上の ein gar unschuldig Ding. hab' — habe. Gewalt — zwingende Macht. (Fischer). über et. Gewalt haben. あるものを支配する。
2627. Ist — (Sie) ist. Jahr — 複数形 Jahre の代りの, 数詞のあとで語尾変化をしない形。Vers 2005の注参照。Vgl. 2361. (Heffner). doch — 否定的な見解に対して, 肯定的な意見を主張する場合。この Vers の意は = Also geschlechtlicher Umgang mit ihr durch das Gesetz nicht verboten. (Trendelenburg). Mephisto に対する Faust のみだらな言葉は, 自らの本能との対話である。理性の言葉は, 今回は Mephisto によって語られる。(Endres).
2628. ja — 発言内容の強調。Hans Liederlich — 当時流行っていた擬人化の一つ。放蕩者, 道楽者。Hans Narr, Hans Arsch, Hans Wurst 等。(Arens).
2629. Der — Hans Liederlich を指す指示代名詞。Blum' — Blume = Mädchen, Geliebte. (Goethe Wb.).
- 2630ff. dünkelt ihm — (es) dünkelt ihm. 非人称 es の省略。ihm — Hans Liederlich. dünkeln — sich etw in Hochmut u Selbstgefälligkeit einbilden. Vgl. Vers 6748. (Goethe Wb.). Dünkel と sich dünken とから作られた。(Königs). es — 形式上の主語。keine Ehre und Gunst が真の主語。Wäre — Konjunktiv II. 間接引用文。Ehre — jungfräuliche Unberührtheit bzw eheliche Treue. (Goethe Wb.).
- Gunst — liebesbeweis der frau gegen den mann; gewährung, erhörung. (Grimm). die — 関係代名詞。先行詞は Ehre と Gunst. Ehr' und Gunst — eine Art Hendiadyoin (二詞一意). zu 不定詞+sein. され得る。= es gäbe kein ehrbares Mädchen, dessen Gunst er nicht erlangen könne. (Trendelenburg).
2632. Geht — (Es) geht. an|gehen. es geht an = es läßt sich tun. それはできる。事がうまく運ぶ。(Fischer). nicht immer.
- 2630—2. Er bildet sich in seinem Hochmut ein, er könne jedes Mädchen erobern; es ist aber doch nicht immer möglich. (Arens).
2633. Lobesan — 5行上の Liederlich と同様に, 名詞として大文字で書く。元来形容詞で名詞のあとに置かれる。Kaiser Rothbart lobesam. ein Professor lobesan. しかしこれが特色のある名詞として皮肉に用いられると, 大文字を要求する。Magister と慣例的に結びついた場合がこれである。Magister Lobesan は17世紀初頭以来 pedantischer Gelehrter の意味で格言風に用いられる。他に Jungfer Naseweis, Nachbar Naseweis 等。(Loeper).
2634. Lass' — Lasse. Konjunktiv I. Er に対する要求。ただしここは Weimarer Ausgabe を筆頭に大多数の版では Laß Er になっている。この場合は命令法。Er — Magister Lobesan. Er — 三つの人称代名詞のうち, 呼びかけとして一番親しみのあるのが du, 次が Er, 最もよそよそしく儀礼的なのが動詞の複数形を伴った Ihr だった。従って Faust は皮肉をこめて, 多少よそよそしい Er を用いている。(Heff-

- ner). jn mit et. in Frieden lassen. ある事である人を煩わせない。Gesetz — Sittengesetz. (Düntzer). Menschensatzung im Allgemeinen. (Schröer).
2635. das — 以下3行を指す。sag' — sage. Ihm — Er の Dat. kurz und gut — ein- für allemal. きっぱりと、断呼として。(Fischer). Vgl. Vers 2656.
2636. junge Blut — 16世紀の言葉や民謡で、若い人や少年少女を指す型通りの表現。Vgl. Vers 872, 2798. (Trunz).
2637. nacht — 南ドイツでは abend の意。次行の Mitternacht とは違う。(Loeper).
2638. So sind wir... geschieden — So werden wir im Mitternacht geschieden sein. の短縮。
2639. Bedenkt — Ihr に対する命令法。was gehen und stehen mag — was überhaupt geht, was in Bereich der Möglichkeit liegt. (Trunz). gehen und stehen は単独の gehen と同じ。(Düntzer). mag = kann. (Heffer).
2640. Tag' — Tage.
2641. Nur のあとに um を補う。
2642. Hätt' ich nur... — Wenn ich nur sieben Stunden Ruhe hätte. Hätte — Konjunktiv II. 現在の仮定。次行の brauchte も同じ。sieben Stunden — Urfaust では sieben Tage. Ruhe = Zeit.
2643. Brauchte のあとに ich を補う。dazu — 次行の zu 不定句。
2644. So ein — Solch ein. Geschöpfchen — vertraulich oder verächtlich von Personen. (Heyse). ここでは verächtlich.
2645. Franzos — Franzose. nhd. nom. sg. の Franzos は、次第に gen. と pl. が Franzosen を持つ弱変化の形 Franzose に固定して行った。(Grimm). この Vers は文体的にも内容的にも Vers 2628 と一致する。フランス人は一人残らず不道徳的な誘惑者であるという流布された見解は、主として優雅でみだらなロココ文学に基づく。(Arens).
2646. bitt' — bitte. laßt's — laßt es. laßt は Ihr に対する命令法。es — 非人称主語。Es verdrießt Euch⁴. あなたは不愉快になる。現代文ではここは = lassen Sie es sich nicht verdrießen! この Vers の意は: Seid bitte nicht länger böse! od. Laßt euch Zeit und Umweg nicht verdrießen! (Arens).
2647. Was hilft's — Wozu hilft (nützt) es. es は後半の zu 不定句。gerade — geradeswegs, ohne Umschweife. (Fischer). = Welchen Wert hat es denn, nur eben den Beischlaf zu vollziehen? (Arens).
2648. Freud' — Freude. lange nicht — bei weitem nicht.
2649. Als — Wie. erst — 先ず最初に。herauf, herum — hin und her.
2650. Brimborium — Umschweife, Vorbereitungen; gebildet zu „brimborion“: (Franz.) Kleinigkeit, Lappalie. (Erler). hier Liebesbeweise. (Schröer).
2651. Püppchen — wie Puppe, freundliche Anrede auch von Mädchen. (Düntzer). zugerichtet — < zurichten = für die Verführung empfänglich machen. なびかせる。(Fischer).
2652. Wie's lehret manche welsche Geschicht' — Wie es manche welsche Ge-

- schichte lehrt. es は Vers 2648-51を指す。welsch = romanisch (italienisch, französisch); fremdländisch. (Fischer). 多くのイタリアとフランスの小説 (特にイタリアルネッサンスの小説) から、それを学ぶことができる。(Arens).
2653. Hab' — (Ich) habe. das — 前行の es.
2654. Schimpf — 古い意味の Kurzweil, Scherz. (Schröer). = Jetzt (seien wir) ohne Schimpf und ohne Spaß!
2655. sag' — sage.
2656. Geht's — Geht es. es は非人称主語。ein- für allemal — ein(mal) für allemal. = immer, in jedem Falle. (Heyne). auf immer, durchaus. (Heyse). es geht mit et. nicht geschwind. あることについては、早くは事が運ばない。
2657. Sturm — 攻略を目的とする突進, 襲撃 (ansturm). ここでは erotisch な意味。(Grimm). da — この場合は。einnehmen — sich zu eigen machen; für sich gewinnen, günstig stimmen. (Fischer). sein + zu 不定詞。Vgl. Vers 884ff. (Trendelenburg).
2658. sich zu et. bequemen — sich zu etw bereit finden, zu etw verstehen. 同意する, 従う。(Goethe Wb.). sich darein fügen. (Heyse).
2659. Schaff — du に対する命令法。= verschaffen. 2行下の Schaff も同じ。Engelsschatz — das begehrte Mädchen. (Goethe Wb.). etwas von Engelschatz — 愛する娘の何かの持物。
2660. Führ — du に対する命令法。Ruheplatz — ein platz, der ruhe gewährt. (Grimm).
2662. meiner Liebeslust — Dat. = für meine Liebeslust.
- 2663ff. Damit — 目的。seht — erkennt. Euer Pein — Dat. Will — 普通は sein のあとに置かれるべきもの。förderlich und dienstlich — 官庁語の慣用句。役立ち奉仕する。Vgl. Luthers Kleinen Katechismus, 9. Gebot. (Goethe Wb.).
2665. Wollen wir — Konjunktiv I. wir に対する要求。
2666. Will — (Ich) will. noch heute — 今日のうちに。Mephisto は Faust のために Gretchen を選んでいたばかりではなく、彼女の部屋に入り込む機会を探り出していたのは明らかである。これは彼女に近づく機会を見つけ出すのに14日必要と言う彼自身の言葉と矛盾する。(Arens).
2667. Und soll... — Und soll (ich) sie sehen? soll — 疑問文に用いる場合。sie haben? — (Soll ich) sie haben? haben — erlangen, gewinnen.
2668. wird — 推量。
- 2669—71. könnt — dürft. künft'ger — künftiger. Freuden — 次行の weiden と韻を踏む。(Heffner). Dunstkreis — Lebensbereich. (Goethe Wb.). zimmer. (Grimm). ganz sinnlich zu fassen: der Duft, den ein jugendlicher Körper verbreitet. 若々しい少女の肉体から発散する香り。Vgl. Vers 1442. (Trendelenburg). sich an einer Sache weiden = etwas mit Wohlbehagen, mit Vergnügen betrachten. (Heyse). 彼女の部屋の中で、未来の楽しみをこころ行くばかり空想したらよい。Vorfreude を楽しむこと。Euch は2行上の Ihr のあとが普通の文。Euch

weiden は詩的表現。

2672. hin — hin(gehen).

2673. Sorg — du に対する命令法。jm. für et. sorgen.

2674. Das — Gleich schenken. brav — schön, vortrefflich. (Heyse). aus franz. brave „tüchtig“ seit dem 16. Jh. eingebürgert. Ferner ironisch gebraucht wie fein oder hübsch. (H. Paul). ここでは皮肉な意味をこめて、そいつは豪気な、豪勢なことだ。御丁寧なことだ。Da — Dann. er — Faust. reüssieren — fr. Erfolg haben, seinen Zweck erreichen. (Fischer).

reüssieren (fr.) や revidieren (lat.) という外国語の使用は、Mephisto の世間ずれと猥せつさを表現するのに役立っていて、女に夢中になっている Faust の興奮した性急さと対照をなしている。フランス風の雰囲気をもたせるために、この行は Alexandriner (フランス起源) である。(Heffner).

2675-7. altvergraben — vor langer Zeit vergraben. (Fischer). revidieren — lat. forschen, nachsehen, prüfen. (Fischer). 埋められた財宝は、悪魔の管理下にあると一般に考えられていた。(Heffner). Volksbuch では Faust は Schatzgräber である。(Schmidt). 隠れた財宝の管理者として、Mephisto はのちに第2部第1幕に登場する。(Heinemann).